

茶ゆかりの里四季の俳句会 一般の部 (令和六年十月～十二月分)

選者 高山俳壇 高野 悠子 先生

特選天

夕日映えもみじと入る露天風呂

高山村

園山 達雄

旅の疲れを露天風呂でゆっくり癒やす情景が目に浮かぶ。「もみじと入る」が微笑ましい。

特選地

売り出しの文字の太さに細秋刀魚

群馬県

竹渚 千恵子

最近、秋刀魚が高値でスリムで困っている。作者は文字の太さに魅了され買いに行つたところ、あまりにも細すぎる秋刀魚に落胆。共鳴句です。

特選人

抗わぬ蟻螂そつと掃き出しぬ

千葉県

土田 宏美

鎌切に対して優しい作者の配慮が窺われる佳句です。

入選

夕刊に明るいニュース虫時雨

愛知県

武山 明彦

入選

写真集残し逝く人秋惜しむ

群馬県

竹渚 てる子

入選

濃淡の霧に沈みし湯宿かな

山梨県

河西 五十鈴

入選

ガマズミや何も置かざる一茶の間

須坂市

田中 友江

入選

病床に鐘の音届く去年今年

中野市

久保 広二

入選

串刺しの如一枝の冬雀

群馬県

安齊 和子

入選

恙無く今年も生きて晦日蕎麦

三重県

西尾 泰一